

まず、1年前から半年前までに、

後援会を作る。

(県の選管に届けを出す。後援会長、会計責任者、会計責任者代理の3人がいれば作れる。)

『後援会員を集める⇔名簿を集める』

後援会のTOP3

そして、幹部7人衆くらいの人を決める。

現在の首長や現職の議員の考えをHPや、
議会の傍聴をして、把握する。

自分が当選するのに必要な票数を考えてみる。

選挙区の人口の分布を調べ、
どのようにすれば票数を満たせるのか、
具体的に考えてみる。

後援会名刺、後援会チラシをつくる

選挙ポスター、公選ハガキ、タスキをつくる

前回の選挙で、選挙ポスターの掲示板の枚数が何枚だったか？を市選管に聞く。

5か月前

関係のある団体などの新年会、歓送迎会、イベント、祭りなどで、
名刺やチラシを配って、後援会に入ってもらおう。

4 か月前

ひきつづき

関係のある団体などの新年会、歓送迎会、イベント、祭りなどで、
名刺やチラシを配って、後援会に入ってもらおう。

友人や知り合いから、知り合いを紹介して貰って、
挨拶をしながら（個々面接） ※法律では戸別訪問は禁止されています。
後援会に入ってもらおう。

公選葉書の宛名書きを始める。

選挙事務所として使える場所を、不動産屋さんと相談してみる。

選挙カーと選挙カーの看板について、
看板屋さん、板金屋さん聞いてみる。

駅前や商店街などで、朝などに「おはようございます。いってらっしゃいま
せ」
を言い続ける。（名前は出してはいけない。顔を覚えてもらう。）

2、3 か月前

引き続き、

駅前や商店街などで、朝などに「おはようございます。いってらっしゃいま
せ」を言い続ける。

選挙で手伝ってもらおうボランティアと

お金を払って使うスタッフ（ウグイス嬢）などを、把握し、予約する。

選挙当日から、2、3 か月前にある、市区町村の選挙管理委員会の行う説明会に参加す
る。

選挙カーの準備を完了する。

引き続き公選葉書の宛名書き。

選挙事務所の不動産契約、準備。

1 か月前

引き続き、

駅前や商店街などで、朝などに「おはようございます。いってらっしゃいませ」

を言い続ける。

選挙事務所を作り上げる。

本番1 か月前くらいに事務所開きをする。

事務所が無人にならないようにボランティアのスタッフなどに詰めてもらう。

出しているのは、お茶と茶菓子程度。

選挙に必要なすべてのものをそろえ終える。

(ポスター、公選葉書、チラシ、名刺、選挙カー、スタッフ、ウグイス嬢、タスキなど他にもあるかもしれないが、リストアップしてみて、法律的に、どれを提供して良いのか調べる。してはいけないものをしてたらアウトです。)

新聞などに取材されたときに、どういう風に対応するか考えておく。

プロフィールや政策などをまとめる。(チラシに載っているので大丈夫かもしれない)

本番

立候補届を出す。

出陣式をする。

ポスターを掲示板にはる。(スタッフ10人くらい必要)

選挙カーで街宣する。

電話を、沢山かける。

郵便局にいった、公選葉書を出す。

8時から20時まで、とにかく、色々なところで、お願いする。

選挙立会人を決める。

と言うのが、簡単な流れではないでしょうか？

ということで、宜しければ、参考にしてみてください。

鈴木健一 080-2266-0125